

# 第 1 1 回山ノ内町議会報告会



第 1 0 回山ノ内町議会報告会風景

## 目 次

総務産業常任委員会報告	1
社会文教常任委員会報告	10
広報常任委員会報告	18
議会運営委員会（活性化）報告	21
参考資料（実施計画）	25

### 山ノ内町議会事務局

電話 33-1101 FAX 33-4527 有線 2020

E-mail : [gikai@town.yamanouchi.lg.jp](mailto:gikai@town.yamanouchi.lg.jp)

# 山ノ内町議会構成一覽表

◎=委員長 ○=副委員長 ●=委員

議席	氏名	議会運営	常任委員会				会派	備考
			総務産業	社会文教	予算決算	広報		
1	山本 光俊		○		●	●	創誠会	
2	小林 民夫			●	●	○	無所属	
3	湯本 晴彦	○		○	●	●	創誠会	
4	高山 祐一	◎		●	○	●	緑水会	
5	望月 貞明	●	●		●	◎	緑水会	
6	布施谷 裕泉	●		◎	●		緑水会	
7	徳竹 栄子		●		●		無所属	農業委員
8	山本 良一	●	◎		●		無所属	
9	渡辺 正男	●	●		●	●	共産党	
10	児玉 信治			●	●		清新会	監査委員
11	小淵 茂昭		●		●		清新会	
12	小林 克彦			●	●		無所属	
13	高田 佳久			●	◎		清新会	副議長
14	西 宗亮		●				無所属	議長
		6	7	7	13	6		

## 総務産業常任委員会

### 1. 付託議案等の審査(29年3・6・9・12月議会)

項目	会期	件名	結果
条例 (12件)	3月	・ 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正	可決
		・ 個人情報保護条例の一部を改正	可決
		・ 税条例等の一部を改正	可決
		・ 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例	可決
条例 (12件)	6月	・ 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	可決
		・ 行政手続条例の一部を改正	可決
		・ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正	可決
		・ 地域防災情報システム（同報系）整備工事の請負契約の締結	可決
条例 (12件)	9月	・ 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	可決
		・ 田舎暮らし体験住宅の設置及び管理に関する条例	可決
		・ 町営住宅等に関する条例の一部を改正	可決
条例 (12件)	12月	・ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正	可決
請願 陳情 (3件)	3月	・ 最低制限価格の設定に関する陳情	不採択
	3月	・ オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める陳情	不採択
請願 陳情 (3件)	6月	・ 免税軽油制度の継続を求める陳情	採択
発委*1 (1件)	6月	・ 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出	可決

\*1 発委…議会において、議事の対象となるべき議案を委員会が提出すること。

## 2. 28年度決算審査意見

### (1) 一般会計

#### 総務費

- 移住定住対策を進めること。
- ふるさと基金（寄附分）の有効活用をはかること。

#### 農林水産業費

- 地域6次産業化を進めること。
- 新規就農者の受け入れ体制（作業環境・里親制度）を充実すること。

#### 商工費

- ユネスコエコパークのさらなる周知をはかること。
- 公衆トイレ、案内看板の整備を引き続き推進すること。

#### 土木費

- 急傾斜地砂防対策事業をすみやかに進めること。

#### 消防費

- 軽積載車を取り扱う際の安全確保に万全を期すこと。
- 警鐘楼の安全対策をはかること。

### (2) 特別会計

#### 有線放送電話事業特別会計

- 地域防災情報システム移行にともなう有線放送電話事業の終了に万全を期すこと。

## 3. 過去（27年度決算・28年度予算）の審査意見とその現況調査（抜粋）

### 税務課

意見：税の収納率向上に向けて、さらなる努力をすること。

対応：観光事業者を中心に冬季シーズン前及び中盤に地道な折衝納付約束を行い、オフシーズンには必要に応じて滞納処分を実施した。

### 消防課

意見：地域防災システムは受信者に配慮して進めること。

対応：音声調整により、聞こえやすくなるよう配慮。個別受信機に文字表示機能を追加。

意見：地域防災力向上のため、機能別消防団員を活用し、女性消防組織の編成を進めること。

対応：29年4月1日消防団に女性部を設置。現在5名の女性部員が活動中。

### 総務課

意見：移住・定住促進対策を確実に進め、実績の上がるように努めること。

移住・定住促進に向けて、実効性のあるメニューを作ること。

対応：旧北小校長住宅を改装し、移住体験ができる、山ノ内田舎暮らし体験住宅設置する。

### 観光商工課

意見：第5次総合計画後期基本計画の完全実施と数値目標を達成するように万全を期すこと。

対応：第3次観光交流ビジョンとの整合性を保ちながら、観光連盟をはじめ町内関係団体と連携しながら数値目標の達成に向け、計画の推進に務めている。

意見：観光連盟に対しては、指導体制を確立すること。

対応：28年度から観光商工課長が専務理事を兼務し、組織の運営及び事業の推進に関与していくほか、職員1名を派遣し、事務の適正化、効率化に努めている。

意見：ユネスコエコパークの周知をはかり、産業振興につなげること

対応：志賀高原ユネスコエコパーク協議会が参画する日本ユネスコエコパークネットワークにおいては、29年8月に(一財)イオン環境財団と連携協定を締結したことから、イオングループのネットワークを活用してのユネスコエコパークの周知や情報発信、活動支援、産業振興等にもつなげていく。

#### 農林課

意見：就農支援策の強化と安定した農業経営支援を拡大すること。

対応：就農相談会に参加し当町での就農をアピールしている。

県の里親制度を利用して現在2人の研修が行われている。

#### 建設水道課

意見：空き家対策条例は速やかに策定すること。

対応：29年度に空き家対策計画の策定を実施する。空き家対策条例の策定については整理すべき事項が多岐にわたるため、今後設置予定の空き家等対策協議会においても審議・検討をしていく中で、条例策定に向けて進める。

意見：急傾斜地砂防対策事業を速やかに進めること。

対応：29年度においては横湯、安代、一の瀬の3地区で事業に着手している。

各地区から要望をいただいている未着手箇所については、新規採択(事業化)に向けて粘り強く要望していく。

#### 4. 楽ちんバスの運行状況 (10/1~12/31)

(1) 1か月平均走行距離 約 10,580 km

(2) 世代別乗車総人数 (単位：人) ※世代別は、乗務員の見た目での判断です。

ルート	学生 (高校生以下)	成人・社会人	高齢者 (65歳以上)	合計
西・北部	172	439	1,425	2,036
南部	417	162	207	786
合計	589	601	1,632	2,822

(3) 利用者アンケート結果

・10/1~9の10日間 28人回答(1人1回) JA支所と夜間瀬駅での降車者のみ

・12/6・12・16の3日間 50人回答(1人1回) 全便へ乗り込み

① 利用目的別の状況 (単位：人)

通院	買物	通勤	通学	レジャー・ 娯楽等	仕事・ 業務	私用(娯 楽・銀薄)	その他 (帰省・等)	無回 答
23	15	6	8	7	3	6	9	1

② 利用頻度の状況 (単位：人)

ほぼ毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	年に数回	無回答
13	17	14	26	6	2

③ 総合的な満足度 (単位：人)

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
29	32	11	5	0	1

④ 要望・意見の主な内容 (要約、アンケート以外も含む)

運行本数と時間帯の増/バス停の改善(ベンチ・屋根の設置) /土橋にバス停増設/回送バスへの乗車/定時性の確保/乗換・接続時間の改善(バス双方) /乗り残しの心配/中野市内への運行/観光客の乗車/過密ダイヤのためスピードが速い など

## 5. 管内・管外視察の取り組み

管内視察（29年6月20日）

	視察先	視察内容
1	公式観光アプリ やまのうちNavi	29年3月から運用が始まった公式観光アプリ。実際に利用し利便性などを確認
2	やまびこ広場 遊具設置工事	28年7月にクリフクライマーとジャングルジムキューブが設置され、機能と設置状況を確認
3	集落営農組織 「エコファームくつの 育苗施設」	水稻育苗ハウスの活用状況を確認
4	南部浄水場 更新工事	更新工事の進捗状況を確認（29年8月7日に通水式を行った）
5	岳南消防本部(中野市) 化学消防車・本部制御室	本部制御室では機材やシステム、火災時や救急搬送時の業務の流れを実演をまじえ説明を受け、化学消防車は用途と機能を確認
6	スノーパル(雪室) 収納・活用状況	雪を使った冷蔵庫の収納と活用状況を確認
7	移住体験住宅 旧北小校長住宅	改修予定の旧北小校長住宅の現状と改修計画現地調査



南部浄水場更新工事  
新しいシステムの説明を受ける



岳南消防本部指令室での、火災・救急の  
実演を視察



「エコファームくつの」の水稻育苗ハウス



改修予定の田舎暮らし体験住宅(旧北小校  
長住宅)

管外視察（29年11月13日～14日）

	視察先	視察内容
1	御代田町 有限会社トップリバー 富士見みらいプロジェクト	農地の有効活用による地域活性化と雇用創出による経済効果を目的に26年に発足。「儲かる農業」を推奨し、農業を通じて家族・仲間・地域の人たちを幸せにすることを理念の一つとしている。農業の素人を6年間の修行で独立させることを重視し、「農業経営」の普及に努めている。
2	静岡県 伊豆市 NPOサプライズ ドットツリー修善寺	28年移住定住拠点としてオープンした。行政に頼らない民間出資100%のプロジェクトで、12棟の2LDKメゾネット住宅と小規模オフィスが立ち並ぶコンセプト賃貸物件。独特の発想と地域に根差した活動が特徴。



ドットツリー修善寺 移住定住のあり方に発想の転換の必要性を痛感

(29年7月17日～20日：日本時間)

	視察先	視察内容
3	アメリカ合衆国 コロラド州ベイル町	ベイル町との友好都市提携のための現地調査。 28年8月阿部長野県知事が訪問した際に、ベイル町が日本の自治体と友好提携してないと聞き、県内市町村を紹介する旨を発言。同年10月ベイル町助役に友好提携先候補として山ノ内町を紹介する親書を送付。29年3月ベイル町議会で「山ノ内町との友好提携のための検討に必要な調査視察等を前に進めること」を満場一致で可決。 同年6月ベイル町より正式招待を受け訪問団10人が渡米した。

(29年8月30日)

	視察先	視察内容
4	小布施町 小布施総合公園	町観光商工課からの依頼により、視察を行い芝生広場、デイキャンプ場、噴水広場、スポーツコミュニティーセンターなどを調査した。

## 【移住定住推進の取り組み及びふるさと納税の推移状況】

### 1. 移住相談会への参加

町のPR・移住推進のため、首都圏で行われた移住相談会に4回参加。  
24件の移住相談に対応。※全体参加者数355人

### 2. 空き家バンクの登録・対応

HP掲載、連絡調整を実施。※H29（新規登録8件、取消1件、成約7件）

### 3. 田舎暮らし体験事業

「北信州山ノ内町田舎暮らし体験ツアー」を開催し、町内の案内・交流会を2回実施。  
(8/19・20、10/7・8 委託料850,000円 参加料5,000円/人)  
11組16人が参加。(参加者：東京都、神奈川県、茨城県、埼玉県、京都府)

### 4. 田舎暮らし体験住宅「須賀川んち」の整備

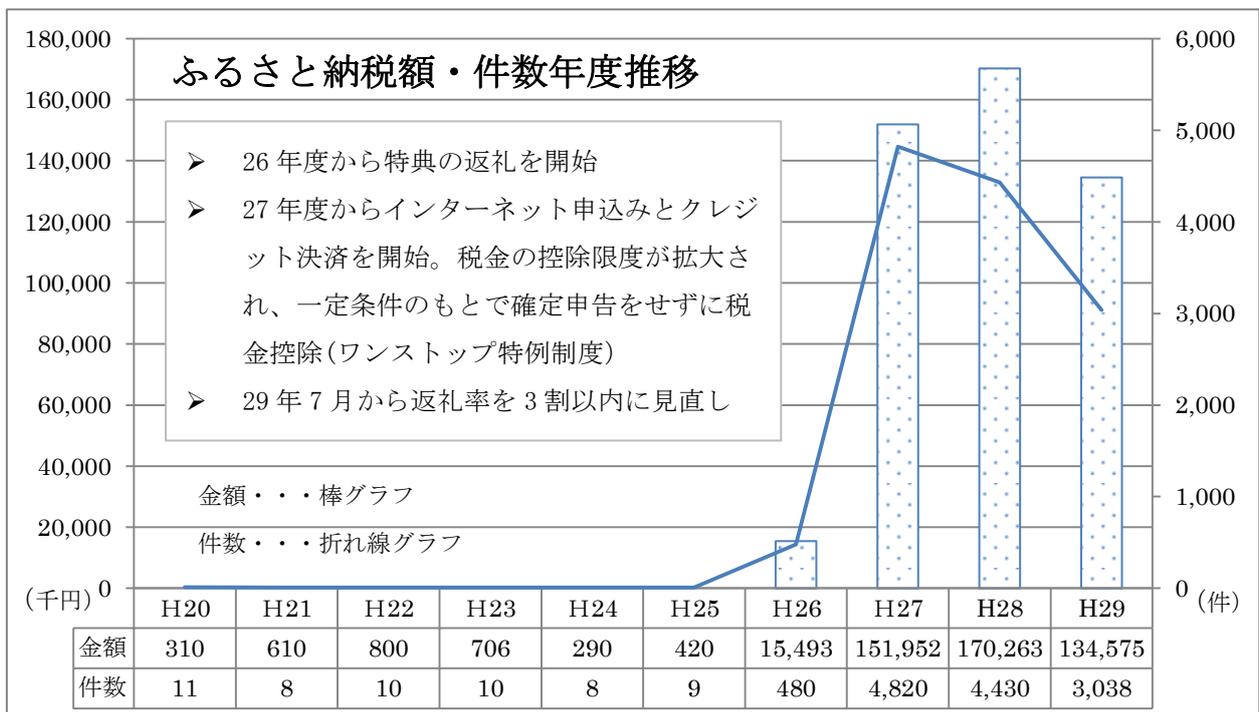
地方創生拠点整備交付金を活用し、旧北小校長住宅をリフォーム。一定期間、町の自然や生活環境の体験等の機会を提供し移住の促進を図る。30年1月より運用開始

### 5. 移住定住に係る補助金対応

各種補助金申請に対する事務対応及び周知（広報・HP掲載）

補助金申請状況（29.12.31現在）

名称	申請件数	補助金額
若者定住促進家賃補助金	13件（新規3件）	3,011,500円
移住促進家賃補助金	12件（新規6件）	3,074,500円
若者定住促進マイホーム取得等補助金	5件 （今後12件予定）	3,120,000円 （9,375,000円）
空き家活用改修等補助金	2件	497,000円
空き家家財道具等処分補助金	1件	21,600円



\*H29は4/1～12/31時点のデータです

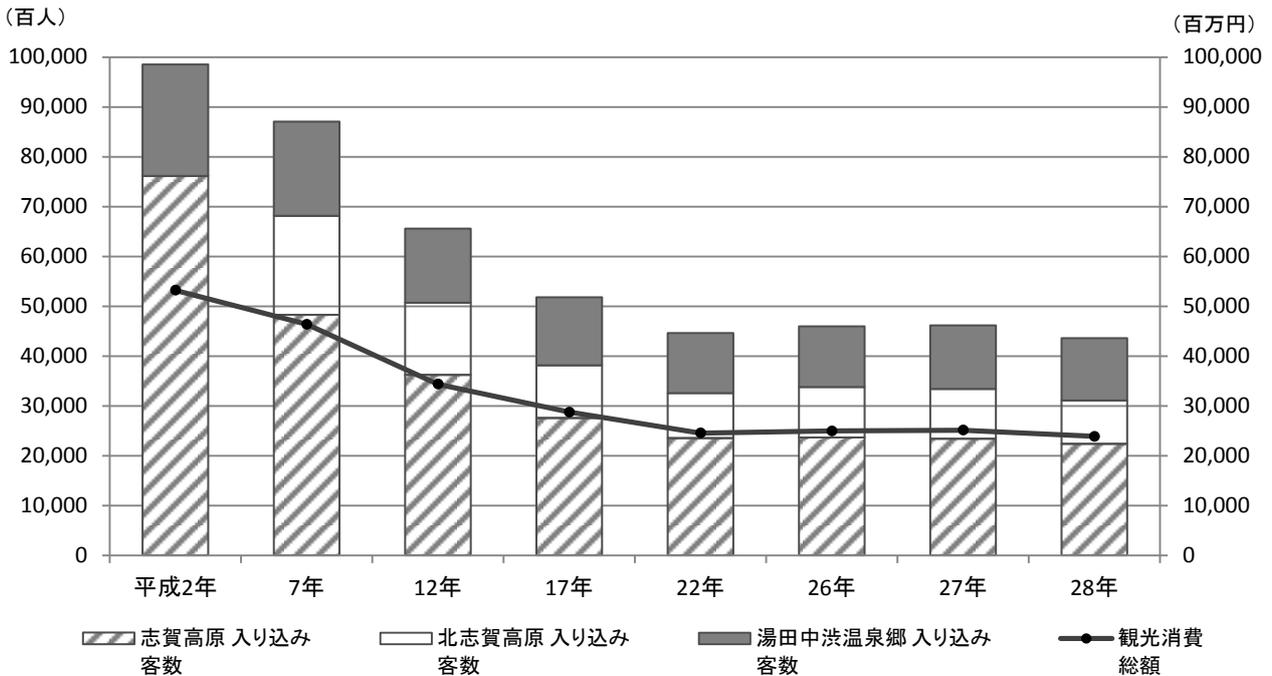
## 【町の観光の状況】

### 1.観光入り込み客数及び観光消費額の推移

(百人、百万円)

	入り込み客数合計	観光消費総額	志賀高原		北志賀高原		湯田中渋温泉郷	
			入り込み客数	観光消費額	入り込み客数	観光消費額	入り込み客数	観光消費額
平成2年	98,500	53,225	76,151	40,554	-	-	22,349	12,671
7年	87,062	46,386	48,249	25,584	19,910	9,769	18,903	11,033
12年	65,543	34,381	36,233	19,374	14,464	6,473	14,846	8,534
17年	51,764	28,781	27,534	15,894	10,591	4,646	13,639	8,241
22年	44,594	24,578	23,506	13,382	9,032	3,896	12,056	7,300
26年	45,934	24,976	23,639	13,250	10,118	4,363	12,177	7,363
27年	46,164	25,145	23,401	13,106	10,024	4,318	12,739	7,721
28年	43,600	23,904	22,403	12,604	8,659	3,716	12,538	7,584

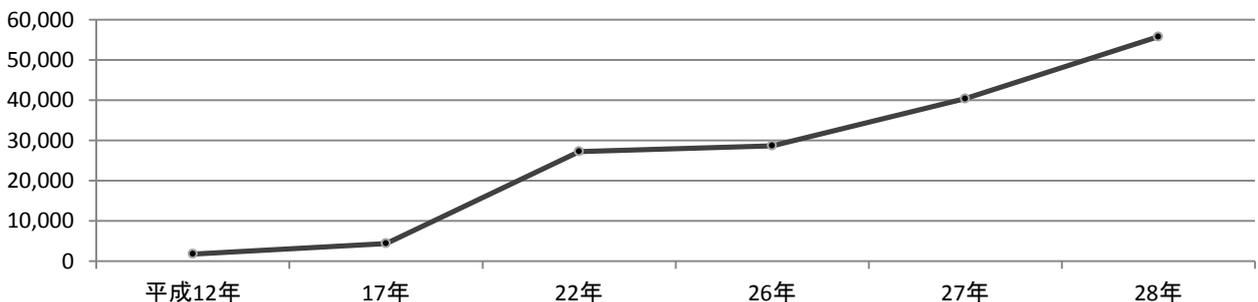
※平成2年志賀高原客数及び消費額は、北志賀高原客数及び消費額を含む。



### 2.外国人宿泊者数の推移

(人)

	韓国	台湾	中国	香港	英国	米国	豪州	その他	合計
平成12年	423	62	17	97	196	432	42	480	1,749
17年	823	287	77	588	280	1,184	403	737	4,379
22年	402	2,812	479	3,135	971	3,551	8,968	6,912	27,230
26年	343	2,574	1,612	4,832	1,037	3,082	7,832	7,363	28,675
27年	408	4,594	3,766	5,174	1,455	4,606	8,799	11,572	40,374
28年	1,535	4,983	4,179	6,393	2,236	5,746	14,401	16,323	55,796



## 【町の農業の状況】

### 1. 農業機械等導入支援事業<上段:個人、下段:共同> (単位:支援件数)

機械種類	H25	H26	H27	H28	H29	合計
SS	19	5	12	8	3	47
	2	1	1	-	3	7
高所作業車	7	-	3	20	1	31
	-	-	-	-	-	-
乗用草刈機	12	4	6	18	2	42
	1	-	-	-	-	1
乗用トラクター	1	-	1	1	-	3
	-	-	-	-	-	-
剪定枝粉碎機	-	-	-	3	3	6
	1	-	-	-	-	2
コンバイン※	2	-	-	-	2	4
糞摺り機※	-	1	-	-	-	1
バインダー※	1	-	-	-	-	1
合計	39	9	22	50	9	129
	7	2	1	1	5	16

表中※印は共同のみ



SS



高所作業車



就農相談会

### 2. 新規就農者の状況 (H29.12.4 現在 単位:人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	11	6	11	7	16	6

★がんばる農業就農奨励金支給

(50歳以下10万円、51歳以上65歳未満5万円)

### 3. 29年度里親登録農業者:8名(東部1、南部4、西部3)

- ①里親研修生から新規就農 1名:果樹栽培
- ②里親研修生 2名:2年生1名、1年生1名
- ③里親農家へパート勤務 1名:農業体験者(夫婦の妻)
- ④須坂果樹実果研修かじゅじっか 1名:体験者(夫)  
30年より新規就農



里親研修

### 4. 29年度 鳥獣捕獲状況 (H29.12.4 現在)

地域		有害鳥獣			
		ツキノワグマ	イノシシ	ニホンジカ	ニホンザル
東部	捕獲頭数	6	3	4	4
	目撃等情報件数	64	3	4	9
南部	捕獲頭数	2	2	3	0
	目撃等情報件数	10	2	3	0
西部	捕獲頭数	1	0	0	0
	目撃等情報件数	5	1	0	0
北部	捕獲頭数	3	0	0	0
	目撃等情報件数	17	5	0	0
合計	捕獲頭数	12	5	7	4
	目撃等情報件数	96	11	7	9
H28年間捕獲実績		28	27	9	13
捕獲頭数の比較(H29-H28)		-16	-22	-2	-9

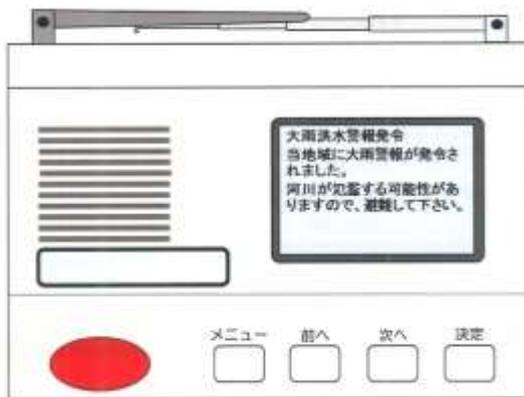
## 【防災無線デジタル化と有線放送廃止】

### 1. 概要

- 整備後まもなく 30 年となる防災無線について、アナログ電波からデジタル電波へ変更しなければならないため、29～30 年度で施設の更新工事（5 億 5,620 万円）を行っています。この中で屋外放送のほか、防災情報伝達システムとしてメール配信や有線放送に代わる戸別受信機のシステムを構築しています。
- そのため防災無線デジタル化工事が完了する 30 年度末をもって、老朽化が進んだ有線放送電話を終了する予定となっています。

### 2. 防災情報伝達システムの概要

- 防災情報伝達システムは、役場及び町消防署での操作により、屋外放送、メール配信、戸別受信機へ一斉に情報提供を行います。
- 屋外放送施設は、町内の 39 基の屋外スピーカーにより屋外などにいる住民に情報を伝達します。
- メール配信は、登録した携帯電話などに情報を伝達します。防災情報や行政情報など、必要な情報を選択して登録できるようにするなど検討中です。
- 戸別受信機は、屋内に設置した戸別受信機から音声及び文字情報を提供します。小中学校・文化センターなどの指定避難所へは無償設置し、それ以外の設置希望世帯には、1 台につき 1 万円の加入保証金をいただきます。（住民税非課税高齢者世帯は 2,000 円）なお、毎月の使用料は無料です。保証金は戸別受信機返却時に返金します。



戸別受信機イメージ図

- ・ 687 台の仮予約を確認（1 月 11 日現在）
- ・ 本予約は 31 年春を 30 年秋に変更予定

### 3. 有線放送の廃止

- 30 年度末（31 年 3 月 31 日）をもって有線放送電話を終了する予定ですが、その後、数年かけ電線や電柱の撤去を進めていきます。

### 4. 事業の課題

- 今まで有線放送にて地域ごとにできた放送については検討中です。これに代わる手段として、地域ごとにメール配信できるサービスの構築なども求めていきます。
- 有線放送電話終了に伴い有線柱が撤去されますが、有線柱に共架されている防犯灯をどうするかなどを詰めていく必要があります。

## 社会文教常任委員会

### 1. 付託議案等の審査(29年3・6・9・12月議会)

項目	会期	件名	結果
条例 (2件)	3月	・学校施設使用に関する条例及び体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正	可決
		・介護保険条例の一部を改正	可決
請願 陳情 (3件)	3月	・「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する陳情	採択
	9月	・国の責任による30人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情	採択
		・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情	継続審査
12月	・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情	採択	
発委*1 (3件)	3月	・「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する意見書の提出	可決
	9月	・国の責任による30人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書の提出	可決
	12月	・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出	可決

\*1 発委…議会において、議事の対象となるべき議案を委員会が提出すること。

### 2. 28年度決算審査意見

#### (1) 一般会計

##### 民生費

- 子育て支援については、ニーズの把握とすみやかな情報の共有化につとめ、子育て環境の向上につなげること。

##### 衛生費

- ごみ分別指導の周知徹底をはかること。

##### 教育費

- スポーツ推進計画策定にあたっては、社会体育拠点づくりに合わせ、利用者ニーズに配慮すること。
- 教育振興基本計画については、教育委員会として理念・目標・課題を明確にしたうえで諮問すること。

#### (2) 特別会計

##### 国民健康保険特別会計(事業勘定)

- 特定健康診査受診率向上のため、さらに努力すること。
- 県運営への移管にあたり、町保険税の激変緩和措置を講ずること。

##### 介護保険特別会計

- 総合事業の運営については、万全を期すこと。

### 3. 過去（27年度決算・28年度予算）の審査意見とその現況調査（抜粋）

#### 教育委員会

意見：社会体育施設の整備計画については、公共施設整備等検討会議において、年度内に具体的な方向性を示すこと。

対応：北小学校の閉校にともない、体育館及びグラウンドは29年4月から社会体育施設に転用しました。現在、すがかわ体育館は懸案のトイレや屋根・外壁を改修中です。なお、整備計画は小学校の適正規模適正配置の方向をみてから具体的に検討することとしています。

#### 健康福祉課

意見：障がい者にやさしいまちづくりを推進すること。

対応：障害者自立支援制度にともなうサービスのほか、北信6市町村では、北信地域障害者自立支援協議会を拠点とし、障がい者の財産や権利を守るための機関相談センターとして権利擁護センターやグループホームの拡充、29年度は、24時間体制で障がい者や家族からの相談や緊急宿泊を可能とする地域生活拠点支援事業に取り組んでいます。28年4月に施行された障害者差別解消法に基づき行政機関や福祉事業所でも障がい者差別をなくすための意識改革にも取り組んでいます。

意見：多様化する子育て・保育のニーズにはきめ細やかに対応すること。

対応：ニーズを適切に把握し、休日保育や延長保育等の充実を図っています。

意見：各種（健）検診の受診者増につとめ、健康づくりを推進すること。

対応：28年度新たに、微細ながんの早期発見ができる肺がん検診らせんCT検査を導入しました。これにより結核・肺がん検診は約100人受診者が増加しました。□

また、乳がん検診は、保健補導員会と連携し、セルフチェックや受診勧奨のポスターを作成し各地区に掲示し80人程受診者が増加しました。

歯周病検診も新たに開始しましたが、受診者の8割以上に異常が発見され、治療につながっています。その他の検診については、未受診者に通知や電話等で受診勧奨を実施しています。27年度各検診において2月末までのがん発見者は6名です。

意見：介護予防を充実させるとともに、利用者のニーズを把握し、適切なサービス提供に万全を期すこと。

対応：28年4月に、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）へ完全移行しました。今までの利用していた通所介護施設を継続して利用できるように配慮し、新規の方には時間をおかずサービス利用できるように支援しています。また、元気高齢者が介護認定にならないよう予防教室を充実しました。

### 4. 各種研修

○ 8月9日（水） 県政出前講座「国民健康保険制度改革について」

30年度から県へ移行する国民健康保険制度の具体的内容について全議員で研修をしました。

詳細資料については、15ページを□覧下さい。



変更点や今後の見通しなど活発な質疑を展開

○ 山ノ内中学校 特別支援教室の現状について懇談会を計画

## 5. 管内・管外視察の取り組み

管内視察（29年6月19日）

	視察先	視察内容
1	志賀高原保育園	屋根改修工事を中心に、補正予算のついたトンネル通路内の破損状況を確認
2	ほなみ保育園	月1回行われる運動指導と建物修繕状況
3	かえで保育園	キレイな子どもを育てるセカンドステップ事業と園庭やプールなどの状況
4	学校給食センター	ドライ化工事の状況
5	北信保健衛生施設組合 東山クリーンセンター	建物内の焼却炉の説明と現地視察、新設した発電棟の状況
6	就労継続支援事業所 ももの木	移転した事業所の運営状況
7	里山ようちえん おやまのおうち	信州型自然保育をすすめる園の運営状況
8	すがかわ保育園	保育園の運営状況ならびに建物・敷地の現状
9	旧北小学校	すがかわ体育館を中心に改修工事の説明と建物概要
10	よませ保育園	保育園の運営状況ならびに建物・敷地の現状



ほなみ保育園での運動指導事業。  
運動習慣を幼少期から身につけることを目的とした「運動遊び」



かえで保育園でのセカンドステップ事業。  
キレイな子どもを育てるために、幼児期に社会的スキルを身につける事業

管外視察（29年11月21日～22日）

	視察先	視察内容
1	長野県 駒ヶ根市 地域保健課	23年に認知症介護ビジョンを策定し、認知症の支援が具体化され、認知症支援を行う組織、「おれんじネット」を立ち上げた。29年4月には、京都の国際会議でも事例を発表している。また、地区の世話焼きをしてくれる人をサポーターやコーディネーターとして、組織化している。そして地域が連携し合って、介護予防の取り組みと担い手育成に力を入れている。
2	山梨県 <small>ふえふき</small> 笛吹市 <small>いさわ</small> 石和西小学校	山梨県の放課後こども総合プラン推進委員会にオブザーバーとして参加。放課後児童クラブと放課後子ども教室を併設している笛吹市の事例を視察した。笛吹市の場合、受け皿として、放課後児童クラブをNPO法人「学びの広場ふえふき」が既に委託されていたので、その延長で子ども教室を展開しやすかったことが挙げられる。また実際の小学校の施設を活用できたことが大きい。
3	山梨県 <small>ほくと</small> 北杜市 社会福祉法人八ヶ岳名水会	北杜市では、25年3月末で廃校になった日野春小学校の跡地利用を公募し、八ヶ岳名水会に決定した。約7000万円の改修工事を経て、27年6月に福祉施設「日野春學舎」が完成した。そこでは構想として、農業、ブリッジスクール、アート企画の3つの事業を展開している。ブリッジスクールは、引きこもりなどの人たちと社会とを結ぶ架け橋として就労支援などを行っている。
4	長野県 小海町 小海町高原美術館	小海町高原美術館は、ロマン美術館と同じく創立20周年を迎えた。工夫を凝らした企画展に力を入れており、29年アート・ラリーということで、海外からアーティストを招いて、町内に長期滞在しながら制作した作品を、美術館のみならず、町内各所にも展示する企画を行った。



石和西小学校の放課後児童クラブで、先生が作ったオリジナルソングを児童が歌う様子

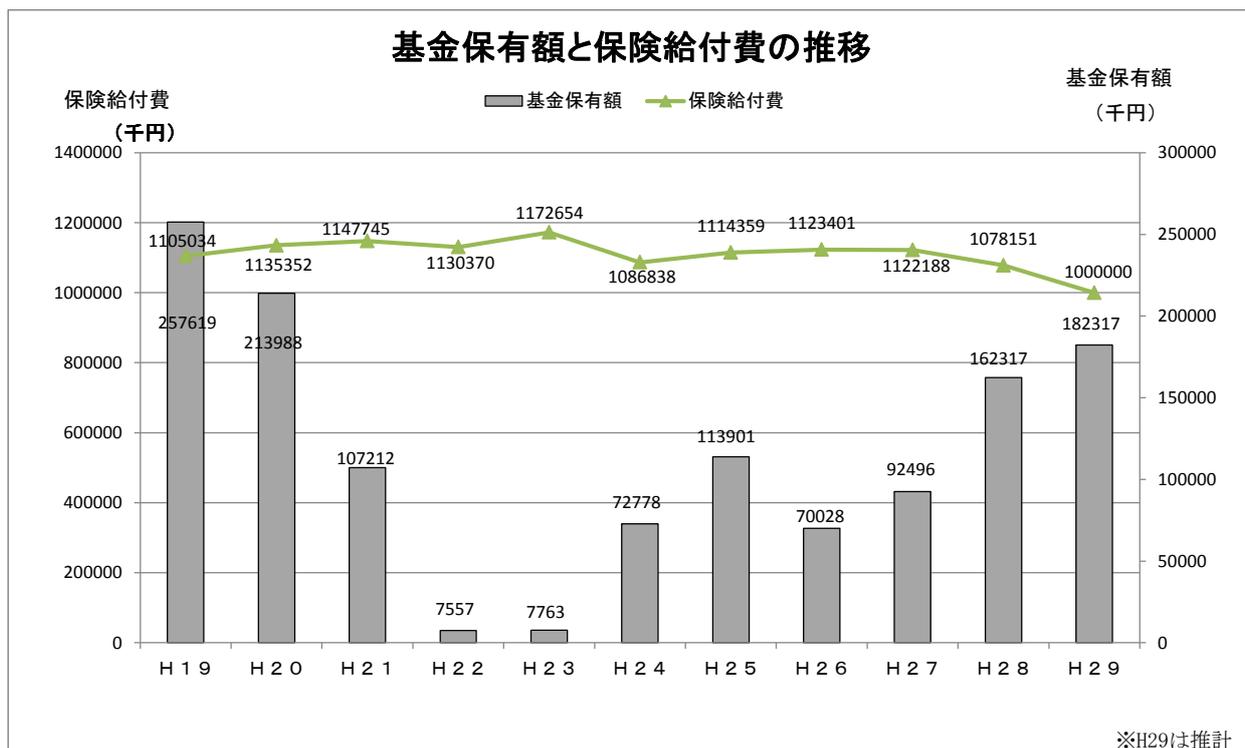
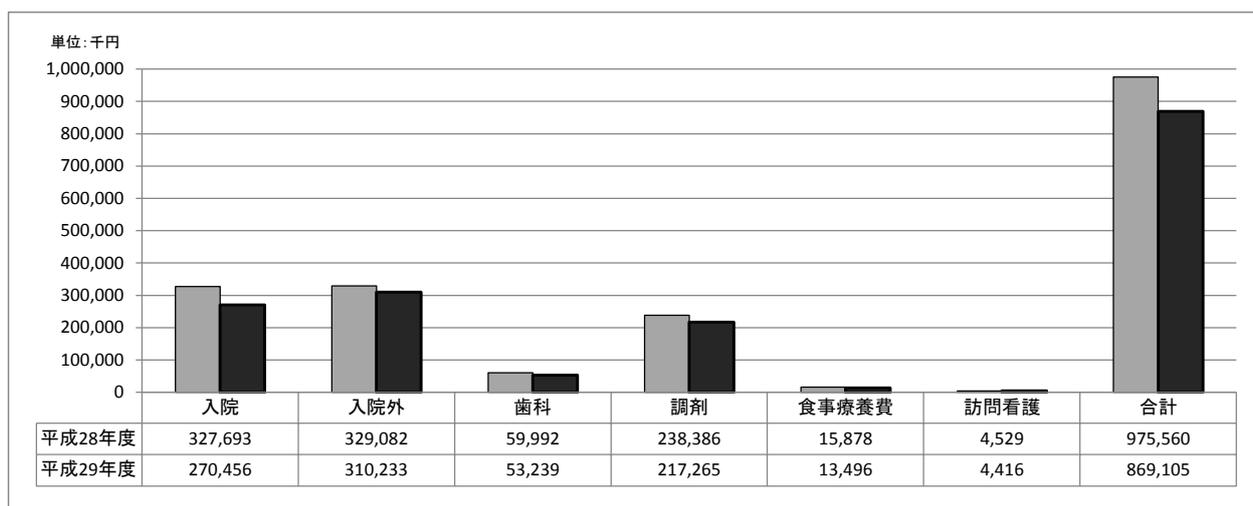


小海町高原美術館で説明を受ける

## 【山ノ内町の医療費状況】

(29年3～11月診療分の前年比較)

国保 【一般・退職計】	平成29年度			平成28年度			比較(a/b)		
	件数 件	日数 日	費用額 円	件数 件	日数 日	費用額 円	件数 %	日数 %	費用額 %
診療費									
入院	523	7,799	270,455,980	598	8,870	327,693,240	87.5%	87.9%	82.5%
入院外	24,799	32,497	310,233,050	26,340	39,097	329,081,590	94.1%	83.1%	94.3%
歯科	4,444	8,967	53,238,820	4,799	9,871	59,991,630	92.6%	90.8%	88.7%
小計	29,766	49,263	633,927,850	31,737	57,838	716,766,460	93.8%	85.2%	88.4%
調剤	18,442	21,278	217,263,680	19,642	22,962	238,385,830	93.9%	92.7%	91.1%
食事療養費	512	19,992	13,496,310	576	23,710	15,877,915	88.9%	84.3%	85.0%
施設療養費									
入所	0	0	0	0	0	0			
通院	0	0	0	0	0	0			
小計	0	0	0	0	0	0			
訪問看護	105	406	4,415,530	124	405	4,528,880	84.7%	100.2%	97.5%
合計	48,313	70,947	869,103,370	51,053	81,205	975,559,085	94.6%	87.4%	89.1%
被保険者数	4,142人	一人当り	209,840	4,381人	一人当り	222,680	94.5%		94.2%



## 【平成 30 年度国保制度改正について】

市町村国保はほかの健康保険などと比べると高齢者の割合が高く、被保険者の所得水準が低いといった、年齢構成上や財政基盤上の様々な課題を抱えています。また、市町村規模の大小により国保の財政に差があり、小規模市町村では財政が不安定になりやすいなどといった課題も抱えていました。

そのため、持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律案が公布され、30 年度から国保の財政が都道府県一本化されることになりました。

### ○改正のポイント

#### 1 長野県と長野県内の全市町村が協力して国保を運営します。

- ・長野県の主な役割 → 国保運営の中心的な役割で、財政運営の責任主体です。
- ・山ノ内町の主な役割 → 被保険者に身近なきめ細かい事業を引き続き実施し、今までどおり国保の届け出等の窓口になります。

#### 2 国保税（国民健康保険税）の決め方が変わります。

これまでは山ノ内町が個別に医療費等を推計し、国保税額を決定していました。今後は、長野県が県内の市町村ごとの医療費水準や所得水準を考慮した「国保事業費納付金」の額と「標準保険料率」を示し、これらを参考に山ノ内町が国保税額を決め、賦課・収納を行います。

#### 3 保険証（国民健康保険被保険者証）や高齢受給者証などの様式が随時変わる予定です。新様式と旧様式が混在しないよう、30 年 4 月以降でも、最初の一斉更新までは現在の保険証（旧様式）の有効期限が満了するまでの間、旧様式を使用できるようになっています。

#### 4 被保険者の資格管理が都道府県単位となります。

長野県内であれば、住所を移動しても国保の資格は変わりません。ただし、移動した後の市町村から改めて保険証が交付されます。

他の都道府県へ住所を移動した場合には、国保資格の取得・喪失が生じます。

※いずれの場合もこれまでどおり、転入・転出先の市町村へ届け出を行います。

#### 5 高額療養費の多数回該当の通算方法が変わります。

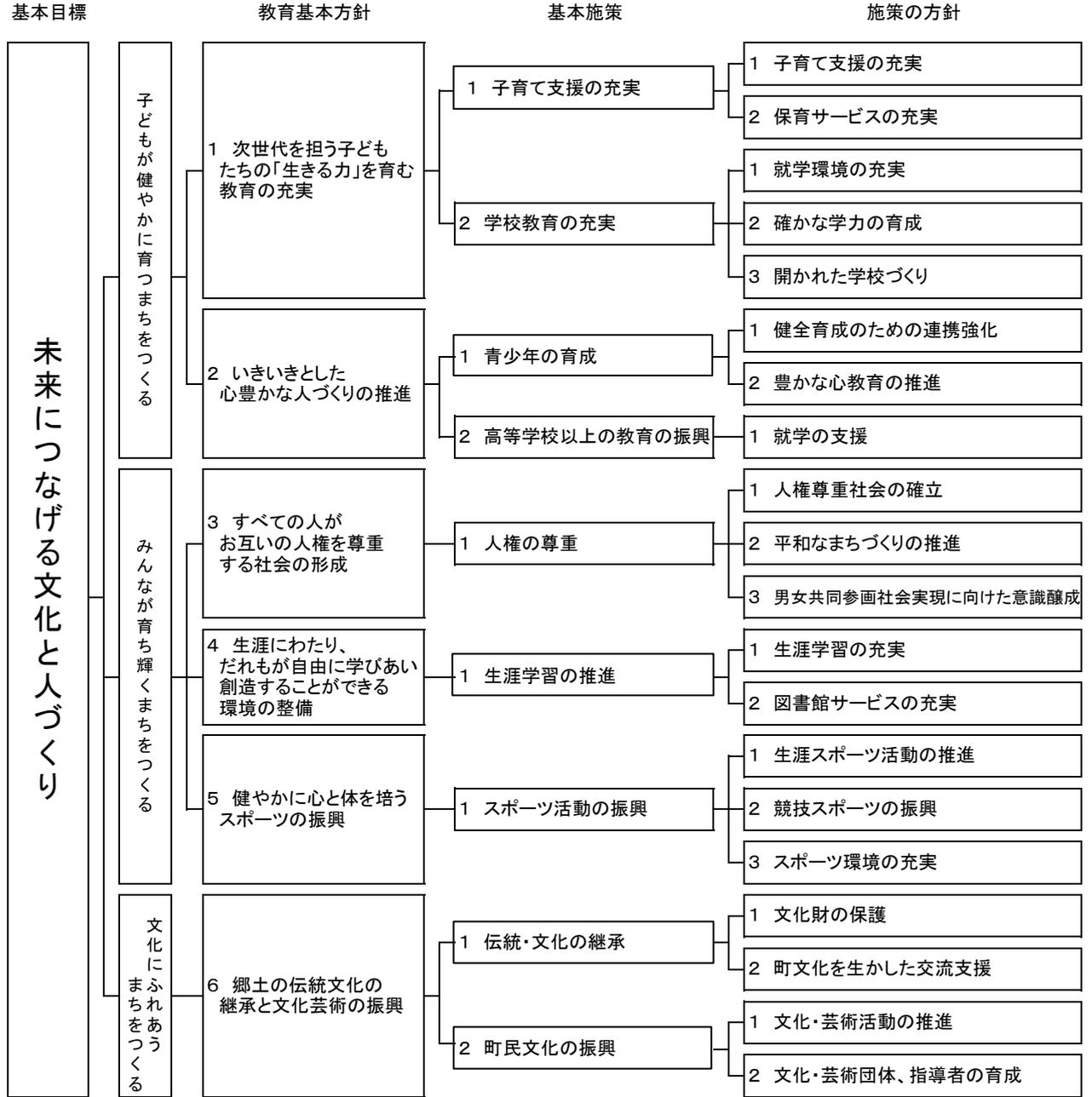
30 年 4 月以降は、同一都道府県内での住所移動は資格の喪失にならないため、該当回数が通算されるようになります。

※上記のほか、高額療養費の自己負担限度額が変わるなど、様々な制度改正が予定されています。

## 【山ノ内町教育振興基本計画の策定について】

- 1、名称 山ノ内町教育振興基本計画  
山ノ内町教育大綱を基に基本計画を策定する。
- 2、計画期間 平成30年度を初年度とした5か年(H30～H34)

# 教育振興基本計画の施策体系



### 3、策定スケジュール

教育委員会にて策定委員会設置要綱制定・委員の委嘱議決 9月  
 教育振興基本計画策定委員会(委員数15名程度)設置10月 策定目標12月  
 教育委員会にて策定委員会での計画案検討 1月定例会  
 パブリックコメント募集1月～2月  
 総合教育会議にて計画案の協議、合意、決定 2月～3月  
 町議会3月定例会で計画の報告

## 【山ノ内町スポーツ推進計画の策定について】

1. 名 称 山ノ内町スポーツ推進計画  
第5次山ノ内町総合計画後期基本計画を基に推進計画を策定する。
2. 計画期間 30年度を初年度とした5か年（H30～H34）
3. 策定スケジュール  
H29.7月 教育委員会にて策定委員会設置要綱制定  
9月 ・委員の委嘱議決  
・スポーツ推進計画策定委員会（委員数11名）策定目標1月  
H30.2月 ・教育委員会定例会にて策定委員会での計画案検討  
・パブリックコメント募集  
3月 ・総合教育会議にて計画案の協議、合意、決定  
・町議会定例会で計画の報告

○アンケート結果（実施年月日：一般H29.3.15～3.31、小中学生H29.6.21～7.7）

### 《一般》

あなたは設置を希望するスポーツ施設はありますか。（回答多い順）

- ①プール(109人) ②トレーニングルーム(108人) ③総合体育館(107人)  
④ウォーキング・ランニングコース(84人) ⑤特にない(82人) ⑥多目的屋内練習場(67人)  
⑦多目的グラウンド(47人) ⑧陸上競技場(17人) ⑨その他(16人) ⑩野球場(15人)  
⑪サッカー場(7人) ⑫ジャンプ台(6人) ⑬武道場(4人)

あなたは現在使用停止中の社会体育館に代わる新たな体育館の設置についてどのように考えますか。（回答多い順）

- 設置してほしい(196人) わからない(145人) 設置しなくても良い(92人)

### 《中学生》

あなたは今後作ってほしいスポーツ施設はありますか。（回答多い順）

- ①体育館(88人) ②プール(74人) ③サッカー場(74人) ④トレーニングルーム(70人)  
⑤特にない(51人) ⑥ランニングコース(37人) ⑦野球場(30人) ⑧グラウンド(27人)  
⑨その他(25人) ⑩陸上競技場(22人) ⑪ジャンプ台(9人)

### 《小学生》

作ってほしいスポーツ施設はありますか。（回答多い順）

- ①プール(86人) ②特にない(69人) ③体育館(58人) ④トレーニングルーム(54人)  
⑤野球場(51人) ⑥グラウンド(35人) ⑦ランニングコース(35人) ⑧陸上競技場(31人)  
⑨サッカー場(29人) ⑩その他(24人) ⑪ジャンプ台(14人)

# 広報常任委員会

## 1. 所管（受け持ち）事項

- (1) 議会だより編集発行。年4回の議会定例会の翌月（1月・4月・7月・10月）発行。
- (2) 議会ホームページの更新
- (3) SNS フェイスブックの作成（27年11月26日開始）と更新

## 2. 編集理念

- (1) 町民の皆様への議会活動と市政に関する「情報の公開と共有化」。
- (2) 正確・公正、分かりやすく、読みやすく、また町民に関心が高い項目を重点的に。
- (3) 結果報告だけでなく、経過を大切に。
- (4) 住民参加での紙面、ホームページ、フェイスブックづくり。
- (5) 「議会だより」は簡潔に。「ホームページ」はより詳細に。「フェイスブック」はよりタイムリーに。

## 3. 編集上の留意点

- (1) 「議会だより」は、経費節減と読者の利便性から17年4月より「広報やまのうち」と合冊になっています。
- (2) 議会だよりは、議会閉会后40日ほどで発行となります。一般質問・討論の原稿は議員本人が書き、その他は広報常任委員が手分けで執筆します。発行までの間、校正を含め3回の広報常任委員会を開催しています。
- (3) 「読みやすくするため」の工夫  
全国町村議会議長会主催の「議会だより編集研修会」が毎年東京で行われ、今年も2名参加しました。  
なお、以前は2日間の研修日程でしたが、28年から日帰り研修となりました。



9/29 東京砂防会館にて研修

「質問」と「答弁」の書体を変えメリハリをつけたり、同じ経費で一部カラーページにするなどの工夫をしています。また、漢字をなるべく減らし、目標とすれば1文30文字とする。結論を先に書く、言葉使いを統一する、不必要な語を削る、公用文ではなく広報文にするなど、分かりやすい表記に努めていきます。

- (4) 「住民参加での紙面づくり」の工夫

議会だより最終ページを「**みんなのひろば**」とし、皆様からの意見や感想、インタビューなど、町民の皆様といっしょに作っていくページとしました。  
皆様のアイデアやご意見をお待ちしております。

#### 4. 議会だより一般質問ページの刷新

28年7月、広報常任委員会と担当課が「議会だよりの充実」をテーマに懇談しました。一般質問の紙面を、1人1ページに拡大することなどを話し合い、29年4月号より一般質問ページを刷新しました。

(変更点) 下図参照

- ① 質問内容を一覧表で表示する目次のページ「ズバリここが知りたい」を新設。
- ② 従来の質問の大見出しに対応した答弁を見出しに追加した。
- ③ 大見出し以外の質問内容が分かるように小見出しを増やした。
- ④ 文字数を小見出し込みの50行から、本文80行までにした。
- ⑤ 文中の難しい言葉に※で注釈を付け加えた。
- ⑥ 新たにつぶやきを追加した。
- ⑦ 議場で撮影した顔写真を採用した。

### 一般質問

## ズバリここが知りたい

**総括 観光・農業・防災・豪雪対策・地域交通・環境美化など**

一般質問は、3月3日、6日、7日の3日間にわたり行われました。一般質問とは、住民から重大な関心と関心を有する大層な議案を扱います。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をだし、所定の答弁を求めます。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前準備を行います。

質問者1人の質問時間は25分です。(答弁を含めて概ね1時間)  
今議会の常任議員は10人、傍聴者は38人でした。(大勢の傍聴をお待ちしています。)

質問者	質問項目
1. 布勢谷 裕泉	1. 教育情報の充実に向けて 2. 「特別教育指導員」の取り組みについて 3. 小さな集落づくり事業の取り組みについて 4. 新任・定任推進事業の進捗について
2. 茂玉 悠樹	1. 西阿蘇村の地域振興について 2. 漁政について 3. 人口減少対策について 4. 観光職工会館について
3. 高田 佳久	1. 平成29年度予算案は世界の百年の歴史と社会福祉を 2. 持続可能な発展の公共サービスの確保を 3. 地域でまよる関係のまちづくりを 4. 関係機関における関係者の協働化と役割の強化を 5. 防災施設等の総合的かつ体系的な整備の推進を 6. 観光振興の推進を
4. 高山 祐一	1. 安心安全な生活について 2. 養蚕に特化した生産者について 3. 施設入居前編の推進について
5. 空月 典明	1. 子育て支援について 2. 施設利用について 3. 福祉施設整備について 4. 水漏れ対策について
6. 藤本 晴彦	1. 地方分権自治における役割のあり方について 2. 町の発展について 3. まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について
7. 西 俊史	1. 観光振興策について 2. 地域公共交通機関について 3. 町民自治中核組織の歩道整備について
8. 遠山 正男	1. 介護保険特別会計の現状について 2. 国民健康保険特別会計の現状について 3. 小学校の今後のあり方について 4. 子育て支援策の充実について
9. 徳竹 榮子	1. 子育て支援について 2. 交通機関の公共交通機関について 3. 中小企業の空き店舗の活用について
10. 山本 真一	1. 1月豪雪時の対応について 2. 北かまぼこについて 3. ロマン街道について

### 一般質問

## 地域の拠点とするための構想は

町長 公民館を中心とした公共施設の集約



**布勢谷 裕泉**

※1 資料型自然環境を一定内での自然体験活動や遊学などとする目的  
※2 施設整備費を一時的に非課税・住民が遊学費に充当しながら、必要に応じて整備費を町民から徴収する



冬の風景 地域の拠点となる拠点に

※3 定常的な活動やイベントの開催に活用できるような施設を整備する  
※4 公民館の活用を促進する  
※5 公民館の活用を促進する  
※6 公民館の活用を促進する  
※7 公民館の活用を促進する  
※8 公民館の活用を促進する  
※9 公民館の活用を促進する  
※10 公民館の活用を促進する

今議会では「付産」の二文字が飛び交う。いい付産と悪い付産があるとか、でも一番付産すべきは地方の風景。

布勢谷裕泉のつぶやき

27 平成29年4月 議会だより第108号

平成29年4月 議会だより第108号 20

## 5. 山ノ内中学校3年生の議会傍聴

12月4日、5日、6日の3日間にわたり山ノ内中学校3年生が社会科教育の一環として12月議会の一般質問を1クラス（約30人）ずつ傍聴に訪れました。



山ノ内中学校生徒でいっぱいとなった傍聴席

## 6. フェイスブックでの発信と議会ホームページの充実

27. 11. 27より議会活動を積極的に住民に知らせるため、下記内容で広報媒体にフェイスブックを追加しました。フェイスブックの発信、ホームページの更新に担当を決め、その充実に向けております。（フェイスブック、ホームページを掲載しました）

（内容）

- ① 議会フェイスブックは、議会活動状況を発信する。
- ② 議会フェイスブックの開設者は議長とする。
- ③ 議会フェイスブックは、その特性を活かして随時更新する。
- ④ 議会フェイスブックの掲載内容は、できるだけ最新の情報を発信するとともに、議会ホームページへの案内につとめる。



# 議会運営委員会

## 1. 議会運営委員会とは

議会運営委員会は、多数の議員で構成される議会を円滑にしかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会である。（全国町村議会議長会編 議員必携より）

## 2. 29年議会運営委員会活動報告

### (1) 4月21日 高山村議会との懇談会

宇木の古代桜と世界平和観音を視察し、懇談会を行いました。



宇木の古代桜まつり会場で

### (2) 6月26日 議長より諮問

議長より議会運営委員長あてに諮問を受けました。諮問内容は以下の通りです。

#### 【諮問内容】

- ① 審議会等への選出廃止について
- ② 通年議会の開催について
- ③ 議会モニター制度の導入について
- ④ 議会の議決すべき案件の追加検討について
- ⑤ 議会報告会のあり方について
- ⑥ 申し送り事項の継続審議について
- ⑦ その他議会活性化策について

### (3) 8月23日 議員研修会

「県政出前講座 地方交付税について」  
全議員対象で、県から職員を派遣してもらい、地方交付税のしくみや当町の現状などを研修しました。



全議員での研修の様子

#### (4)11月6日、7日 足立区区議会議員との交流会

町内各所を案内し、交流を深めました。  
足立区と山ノ内町のさらなる関係維持と  
ともに、お互いにメリットとなるための  
意見交換ができました。



記念植樹したりんごの木の前で

#### (5)11月17日 高山新委員長選出

小林委員長の辞任により、高山議員が新委員長に就任いたしました。

##### 【経過】

9月議会において、災害復旧費を含む一般会計補正予算案の否決に対して、審議のやり直しとなる再議となったことに対し、9月議会閉会后、小林議会運営委員長が辞表を提出。

↓

議会閉会中につき、議長権限により辞任を許可。

↓

11月17日 議会全員協議会にて、新たに、  
議会運営委員会に高山議員が選出される。

↓

同日 議会運営委員会において、高山議員が  
新委員長に決定。その場で議長諮問を再度受ける。



高山新委員長に議長が諮問を渡す

#### (6)12月8日 信濃町議会を傍聴

12月5日に信濃町議会議員が山ノ内町議会の一般質問を傍聴に来たことがきっかけで、  
当町からも信濃町議会の一般質問を傍聴に行きました。

議員の資質向上と議会間交流がはかられ、今後の議員活動にとって有意義な時間となりました。



信濃町議員が当町議会を傍聴



信濃町議会 議場（一般質問の様子）

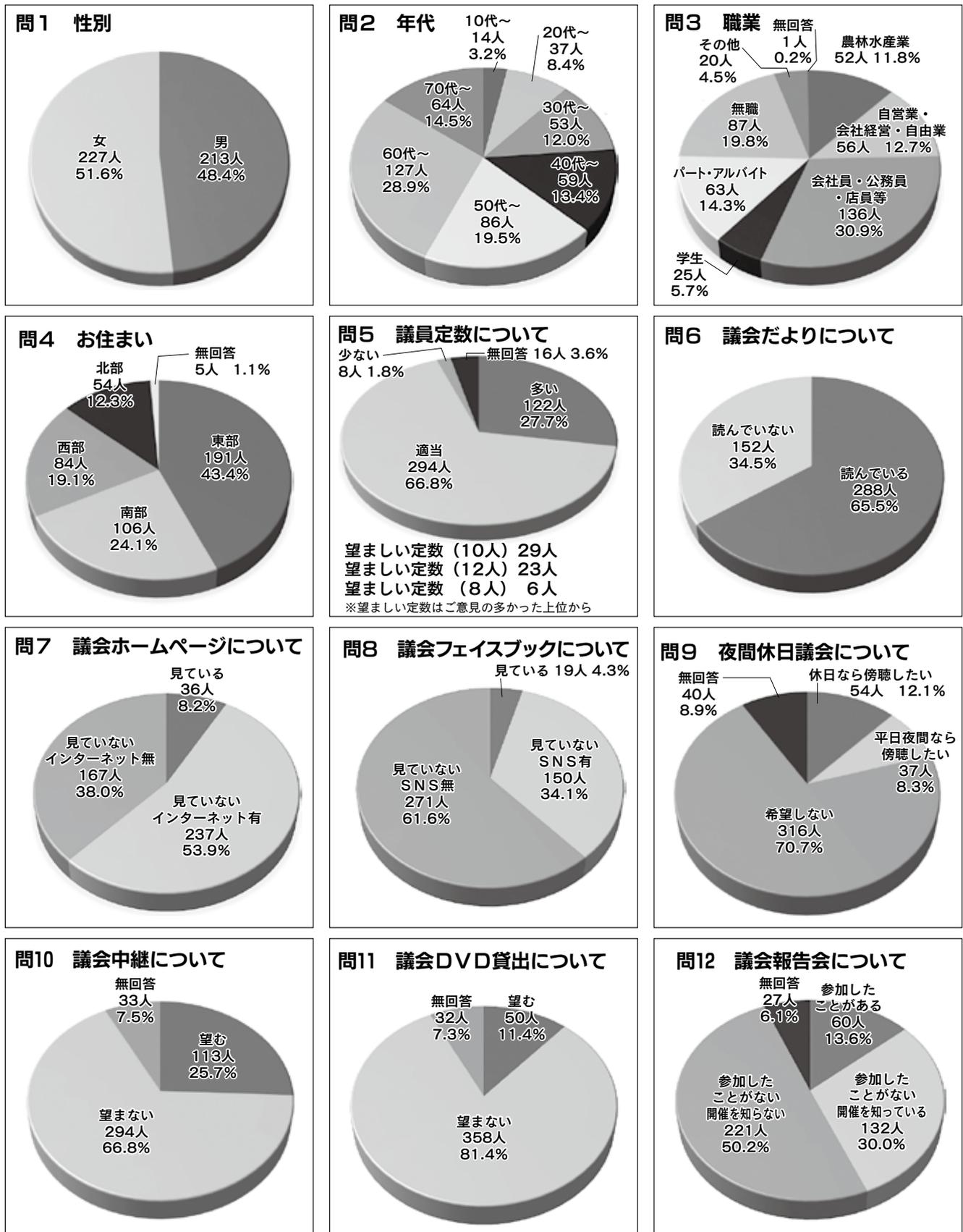
## 議会住民アンケートにご協力ありがとうございました。



町スポーツ推進計画アンケートにあわせ、実施しました「議会住民アンケート」にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

このアンケートは住民約1万3000人の中から無作為に抽出された1000人の方を対象に実施され、440人の方から回答をいただきました。貴重なご意見もあり感謝申し上げます。

アンケート結果は下記の表のようになりますが、これを今後の議会活動の参考にさせていただきます。



## 議会活性化に向けての検討課題申し送り事項

年度	項目	提言・要望	検討結果	備考
23 }	ひらかれた 議 会	各常任委員会、特別委員会の議事録調整	条件整備の上、公開の方 向で	
		議長交際費の公開	公開していく (公開基準の検討)	議会だより第90号 (H24.10発行)にて 掲載(1回のみ)
24	議 会 議員活動	立案能力向上のための組織設置	特別委員会の設置で対応	要綱は特になし
25 } 26	議 会 運 営	実施計画の本会議での報告事項に	継続検討	
		議会モニターを導入し定期的意見交換を	実施に向け検討する	
		条例提案・政策提言のシステムの検討	必要に応じて対応する	
27 } 28	ひらかれた 議 会	一般質問の録画ビデオ等を貸し出し	アンケートを実施し、需要 把握したうえで検討する	
		議会のインターネット中継	アンケートを実施し、需要 把握したうえで検討する	
		住民意見の反映・政策立案	政策サポーター制度の導 入も含め検討する	
	議 会 運 営	通年議会の開催	継続検討	H28管外視察済 (柏崎市議会・阿 賀町議会)
		夜間議会の開催	アンケートを実施し、需要 把握したうえで検討する。	H28管外視察済 (飯綱町議会)
		事務局体制の強化	継続検討	
		ICTの積極的活用	継続検討	H28管外視察済 (柏崎市議会)
		議会の評価制度	継続検討	
	議 会 議員活動	審議会等への選出廃止	継続検討	先例集の見直し に併せ協議
	その他	議員のなり手増のための環境整備	継続検討	随時協議

平成30～32年度実施計画（新規及び改良事業のみ）

※平成29年11月28日議会全員協議会にて町側より説明を受けた資料

第1章 地域資源をつなげる産業づくり（産業分野）

事業名	(改) 観光施設整備事業		所管	観光商工課：観光施設係
施策分野	事業費（千円）		事業方針	
観光			「やまびこ広場」に親水広場やバーベキュー広場、スラックライン等を新設し、さらにトイレや駐車場、水路等の改修を行い、機能向上を図り、小さいお子さんから高齢者まで幅広い年齢層に利用してもらえる施設となるよう整備を進めます。	
年度計画	30年度	70,000	30年度：親水広場整備・トイレ改修、31年度：駐車場・スラックライン整備・水路改修、32年度：バーベキュー広場整備	
	31年度	7,000		
	32年度	3,000		

事業名	(新) 米国バイル町友好交流事業		所管	総務課：友好交流係
施策分野	事業費（千円）		事業方針	
都市・国際交流			山岳観光地である両町の共通点を通じ、観光、環境、教育など幅広い分野における交流により、地域産業・経済の活性化を図ります。	
年度計画	30年度	1,200	30・32年度：バイル町訪問、31年度：バイル町招待	
	31年度	920		
	32年度	1,225		

事業名	(新) 新規就農体制強化事業		所管	農林課：農業振興係
施策分野	事業費（千円）		事業方針	
農業			就農5年以内の新規就農者が、年間作業の繁忙期に短期雇用により労働力を確保する場合の雇用に係る賃金補助を行い、新規就農者の経営の安定化と生産体制の確立を支援します。	
年度計画	29年度	500		
	30年度	500		
	31年度	500		

事業名	(新) 林道施設点検診断		所管	農林課：耕地林務係
施策分野		事業費(千円)	事業方針	
林業			橋梁やトンネルなど林道施設の長寿命化に向け、インフラ長寿命化計画を策定する必要があることから、	
年度計画	30年度	4,300	林道施設の点検診断を行ない、診断結果をもとに個別計画を策定し、老朽化等の程度により補修工事を実施	
	31年度	3,000	します。	
	32年度	2,000	30年度：施設点検診断、31年度：計画策定、32年度：補修工事	

事業名	(新) 林道改良事業(補助)		所管	農林課：耕地林務係
施策分野		事業費(千円)	事業方針	
林業			林道金倉竜王線の経年劣化に伴い、路肩崩落やクラック等破損が著しく、大型車の通行に支障が生じてい	
年度計画	30年度	10,000	ることや、森林経営計画に基づく五輪団地の森林整備が困難となっているため、国庫補助による林道整備を	
	31年度	10,000	行います。	
	32年度	10,000		

## 第2章 健やかで笑顔をつなげる元気づくり(保健・医療・福祉分野)

事業名	(新) 産後ケア・産婦健康診査		所管	健康福祉課：健康づくり支援係
施策分野		事業費(千円)	事業方針	
子育て			産後は心身の不調をきたしやすい時期であり、産後うつ予防や新生児期の育児支援として、産後ケア事	
年度計画	30年度	345	業及び産婦健康診査費用の助成を行い、妊娠期から子育て期に渡る切れ目の無い支援を充実させ、安心して	
	31年度	995	子育てできる支援体制を整備します。	
	32年度	995		

事業名	(新・拡) 保育園修繕・改修事業		所管	健康福祉課：子ども支援係
施策分野		事業費(千円)	事業方針	
子育て			良好な保育環境を整備するため、老朽化した保育園施設の修繕・改修を計画的に進めます。	
年度計画	30年度	6,500	30年度：志賀高原保育園の耐震改修設計、ほなみ保育園の屋根改修設計、すがかわ保育園灯油タンク改修	
	31年度	32,500	及び全施設の簡易な修繕・改修、31年度：志賀高原保育園の耐震改修、ほなみ保育園の屋根改修及び全施	
	32年度	2,000	設の簡易な修繕・改修、32年度：全施設の簡易な修繕・改修	

事業名	(名変) 結婚活動応援事業		所管	健康福祉課：福祉係
施策分野	地域福祉	事業費(千円)	事業方針	
地域福祉			結婚を望む男女に対して、会話や身だしなみ等に関するセミナーや出会いイベントを実施し、結婚活動を応援します。また、イベントでカップルになった方には、その後も継続的な支援を行い、結婚へとつなげていきます。	
年度計画	30年度	2,010		
	31年度	2,010		
	32年度	2,010		

事業名	(新) 地域福祉センター施設修繕・長寿命化調査		所管	健康福祉課：介護支援係
施策分野	地域福祉	事業費(千円)	事業方針	
地域福祉			地域福祉センターは、建設後本館は24年、新館は15年経過しているため計画的に修繕工事を行います。また、設備の耐用年数を考慮し、施設の長寿命化に向けた調査を行います。 30年度：新館空調設備の交換工事・施設長寿命化調査、31年度：本館空調設備整備点検・自動ドア開閉装置交換・電話設備交換、32年度：蛍光灯LED交換	
年度計画	30年度	43,030		
	31年度	9,083		
	32年度	3,300		

事業名	(改) 地域支援事業		所管	健康福祉課：介護支援係
施策分野	高齢者福祉	事業費(千円)	事業方針	
高齢者福祉			平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業が本格稼働し、より自立した生活が営める支援体制が整いました。これに加え、地域における包括的な相談及び支援体制整備のため、医療と介護の連携推進のための相談員の配置、また、地域での住民活動支援のために生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援システムの構築を進めます。	
年度計画	30年度	120,748		
	31年度	122,920		
	32年度	123,820		

第3章 未来につなげる文化と人づくり（教育・文化分野）

事業名	(新) 教育委員会所管公共施設個別施設計画		所管	教育委員会：学校教育係
施策分野	学校教育	事業費（千円）	事業方針	
学校 教育			学校・公民館・美術館などの教育委員会が所管する施設26棟の維持管理のトータルコストの縮減や将来の改修予算の平準化を図るため、必要な維持・更新の優先順位をつけて整備内容や計画を策定します。	
年度 計画	30年度	—		
	31年度	12,500		
	32年度	—		

事業名	(新) 小中卒業祝い金		所管	教育委員会：学校教育係
施策分野	学校教育	事業費（千円）	事業方針	
学校 教育			小中学校卒業祝金を支給することにより、山ノ内町の次代を担う子どもの健やかな成長を願い、子育てを支援していきます。	
年度 計画	30年度	4,800		
	31年度	4,630		
	32年度	4,410		

事業名	(新) 文化センター・はれあいセンター冷暖房機取替		所管	教育委員会：公民館
施策分野	生涯学習	事業費（千円）	事業方針	
生涯 学習			建設から20年以上経過し老朽化による冷暖房機の故障が目立ちます。利用ニーズも高いため計画的に取替を行い、施設利用者が利用しやすい環境づくりに努めます。	
年度 計画	30年度	3,300	30年度：文化センター（和室・相談室）・ほなみはれあいセンター（第1会議室・第2会議室）、31年度：文化センター料理室、32年度：文化センター事務室	
	31年度	1,400		
	32年度	1,400		

第4章 自然と快適な暮らしをつなげる生活基盤づくり（都市基盤・生活環境分野）

事業名		(名変) コミュニティバス運行		所管	総務課：企画係
施策分野		事業費(千円)	事業方針		
交通体系			平成29年10月1日から運行を開始した「楽ちんバス」について、実証運行期間における乗降者数調査やアンケート結果を検証し見直しを行い、利用者ニーズに沿った効率的で効果的な運行を行うとともに、平成30年10月1日より、利用者から運賃を負担してもらう「市町村運営有償運送」に移行し、持続可能な地域公共交通を目指します。		
年度計画	30年度	12,380			
	31年度	16,380			
	32年度	12,380			

事業名		(名変・改) 下水道付属施設		所管	建設水道課：下水道係
施策分野		事業費(千円)	事業方針		
上・下水道			大規模地震等の災害に対応するため、非常用発電機等下水道用の災害対策用品の備蓄と、豊田衛生センターの閉鎖によるし尿の受入を兼用した施設の建設を行います。		
年度計画	30年度	80,000			
	31年度	—			
	32年度	—			

事業名		(新) 長寿命化修繕		所管	消防課：消防防災係
施策分野		事業費(千円)	事業方針		
防 災			町で管理する消防団詰所の屋根について、計画的に塗装を行うことにより長寿命化を図ります。また、警鐘楼についても、廃止するものと残すものを選別するとともに、残す警鐘楼を計画的に塗装することにより長寿命化を図ります。		
年度計画	30年度	2,000			
	31年度	2,000			
	32年度	2,000			

メ モ

本日は議会報告会に参加いただきありがとうございました。  
皆さんからいただいた意見・提言・要望等は町側に伝えるとともに、今後の議会運営に活用させていただきます。

なお、意見等はいつでも受け付けておりますので、下記へお願いします。

○町議会ホームページ内、「お問い合わせ」より

<http://www.town.yamanouchi.nagano.jp/gikai/index.html>

○町議会事務局へのお問い合わせ

TEL 0269-33-1101